

経営改善計画書(令和2年度～令和4年度)

団体名	株式会社 さじ式拾吉
-----	------------

様式2

現状と課題	主力事業が除雪などの鳥取市依存型であり、独自の収益事業を模索して、経営安定化を図らなければならない。
経営方針 (令和4年度目標)	除雪事業に頼らない経営基盤作りを目指す。

視点	4年度目標 (期間内の最終目標)	年度	実行計画		実績		分析、評価コメント (経営改善効果)	市担当課コメント	
			取組内容	目標値	取組状況	実績値			
経営改革 (財務面での長期見直し)	の水稲検討経営の見直し、新たに生産する農作物	2年度	水稲経営において収量増加を目指し売上増加につなげる	280万円→320万円	収量増加を目指したが、気候の状況、管理体制などの問題より思うように進まなかった	317万円	収量≠売上≠利益であり、費用対効果を検証していく必要がある	生産量の増加につなげる管理体制の整備を図っていただきたい。	
			製栽培計画の検討・作成	収穫量、費用の算出	R2年4月、製栽培を行っている農家を臨時職員として雇用		剪定作業受託業務に於いて新人2名を先輩農家と共に作業を行わせ技術習得に努めた		作業員の高齢化により世代交代が必要。早急に作業員を確保し、具体的な計画を検討していく
		3年度	水稲経営に於いて効率の悪い場所を選別し、生産性の向上を図る	作付面積5分の4(前年対比)、売上前年並み	獣害や気象変動による収量減、コロナ禍による外食産業の減少に伴う米価の下落によって大変苦しい状況となった		257万円		水稲経営の在り方を見直す必要がある。維持管理料を新設し、水稲経営の収支改善に努める
			製栽培計画の検討・作成	収穫量、費用の算出	着手できず				全体的に人員不足で実施体制の構築が必要
4年度	水稲経営における維持管理料を新設し、経営と地域のニーズのバランスを取りながら継続可能な体制を構築する	維持管理地で作付けする農作物の検討	夏野菜、芋の栽培を行い地域の子どもたち向けの収穫体験を計画	獣害により収穫できず		収穫体験はできなかったが、維持管理している農地でコンバインを使用した刈取りの体験を実施	赤字幅を減らすことができ、地域の方々にも概ね理解して頂いている。維持管理料の金額設定については引き続き検討していく必要がある		
		適性な維持管理料の検討	1反につき年額16,500円の維持管理料を新設…13件(2.7ha)申し込み		44.7万円の維持管理料収入				
組織改革 (組織見直し、人材育成)	〔R元年〕正職員2名、臨時職員4名 〔R4年〕正職員3名、臨時職員4名	2年度	農林担当者の雇用により専門職として位置づける	技術の習得	【R2年度】臨時職員1名雇用(有期)	外部研修、社内教育実施	専門職員を雇用したが、農林事業担当課長が退職。改めて方向性、体制を検討していく必要がある	確保した人材の能力向上に努めていただきたい。	
			B&G育成士資格の取得	正規社員の兼務が可能になる	新型コロナウイルス感染状況を踏まえ、資格取得研修(沖縄で約1ヶ月)不参加	延期	人件費減(臨時雇用の育成士の退職)		
		3年度	不採算部門統合により人件費の効率化を図る	買い物支援事業+事務受託	買い物支援事業選任職員が事務受託を兼務	①臨時職員(無期)→正社員登用1名、②臨時職員(有期)→臨時職員(無期)登用1名、③臨時雇用職員→臨時職員登用(有期)2名 ※R3.3総務課長退職、R2.12臨時職員定年退職→増員無し。	定年退職の臨時職員1名分人件費減(12月～)		人件費減(臨時職員の退職)
			雇用形態を見直し、職員がより責任感をもって業務に取り組むことのできる体制を作る	有期→無期、無期→正職員	職員のモチベーション向上へ繋がった	これまでより常勤職員数は減った(人件費減)が、マニュアルの整備、作業効率の向上により会社全体の生産性は向上	経営には直結しないが管理上必要な資格なので早期取得を目指す必要がある		
4年度	正職員のB&G育成士資格の取得による、臨時雇用職員1名分の人件費減	正規社員の兼務が可能になる	新型コロナウイルス感染状況を踏まえ、資格取得研修(沖縄で約1ヶ月)不参加	延期	経営には直結しないが管理上必要な資格なので早期取得を目指す必要がある				
	人材確保、人材育成(研修会への参加、現場の中での技術習得、世代交代)	技術、意識の向上を図る	除雪オペレーター資格取得1名	先輩オペレーターと共に乗車し、経験を積みながら技術向上へ繋げた	役割と責任の明確化へ繋がった	収益部門である除雪作業における実施体制の強化につながった			
公益増進 (顧客サービスの向上、社会貢献)	(顧客サービスの向上、社会貢献)	2年度	農産物の生産による耕作放棄地の解消	放棄地の抽出	星空舞の試験栽培を実施	作付場所、新たに生産する農作物については検討に至っていない	試験栽培の段階ではあり、今後の収益性についてはわからないが、特色ある取組として継続していきたい	耕作放棄地の解消に向け引き続き取り組んでいただきたい。	
			B&G育成士資格の取得による各種イベント計画	体育館等利用率向上	資格取得が延期、新型コロナウイルス感染症の影響でイベントの開催が難しい社会情勢であったが、感染対策を行い前年並みで実施	体育館、運動広場の利用率維持	施設メンテナンスを丁寧に行い利用者の方からも高評価を頂いている		
		3年度	買い物支援における手作り弁当の提供	許可の取得	たんぼり荘でテイクアウトの許可を取得	弁当提供1回	現在、佐治町に食堂は1軒もないので、今後求められる事業。体制を整えていきたい		
			B&G育成士資格の取得による各種イベント計画	体育館等利用者数増加	資格取得は延期となったが、施設修繕に伴う利用者数の増加に繋げることができた	体育館、運動広場合計11764人(前年7427人 前年比158%)	利用者増≠収益増ではないが、市民の健康増進や居場所として異議のある施設運営を心掛けたい		
4年度	買い物支援における手作り弁当の提供	試験的に実施	山菜おこわを注文をとり販売(年4回)	1回あたり100食近い注文が集まり好評	買い物弱者支援は、収益事業ではないが、地域にとって必要な事業であり、補助などを活用しつつ今後も取り組んでいきたい				
	B&G各種イベント計画	体育館等利用率数増加	B&G育成士の資格取得、新型コロナウイルス感染症の影響でイベントの開催が難しい社会情勢であったが、感染対策を行い実施。子ども達の居場所作り事業では日数を7日間に延長して実施	B&G育成士資格取得、B&G塾7日間実施(前年5日間)	B&G育成士の世代交代することで、地域や時代のニーズにあった事業を実施していく地域にとってなくてはならない場所として管理を行う				
4年度	買い物支援における手作り弁当の提供	定着化を図る	山菜おこわを注文をとり販売(年4回)	1回あたり100食近い注文が集まり好評	トスク閉店、他の移動販売業者の撤退など地域の買い物支援の重要性は高まっており、要望に応えられるよう取り組みたい				
	維持管理料を新設し、経営と地域のニーズのバランスを取りながら継続可能な体制を構築する	維持管理地で作付けする農作物の検討、適性な維持管理料の検討	一反16,500円の維持管理料を新設		44.7万円の維持管理料収入	赤字幅を減らすことができ、地域の方々にも概ね理解して頂いている。維持管理料の金額設定については引き続き検討していく必要がある			